

ふるさと再発見 第42回

Rediscovery Omihachiman

たてもの探訪③

姨綺耶山長命寺

本堂他6棟



長命寺 伽藍全景

長命寺は聖徳太子の開基が伝えられる西国三十三所霊場31番札所の天台系単立の寺院です。

山号は姨綺耶山で、本尊は千手観音菩薩、十一面観音菩薩、聖観音菩薩の三尊となっています。寺は琵琶湖の眺望の良い姨綺耶山中腹にあり、多くの参拝者が訪れます。

寺は伝承によると、景行天皇の時代に武内宿禰が柳の木に「寿命長遠諸願成就」と彫り長寿を祈願したことに始まり、その後、聖徳太子がこの文字を発見、十一面観音を彫り、寺の名前を長命寺と名付けたと伝えられています。大河ドラマ「鎌倉殿の13人」にも登場し、後に近江国守護と

なつた佐々木定綱は父・佐々木秀義の菩提を弔うため長命寺に本堂や三仏堂などを建てています。戦国時代に長命寺は戦火で焼失しますが、室町時代から江戸時代にかけて建物は再建されました。

長命寺には現在6棟の国の重要文化財に指定されている建物があります。長命寺本堂は室町時代の大永4（1524）年の建物で、入母屋造で屋根は檜皮葺となつています。桁行7間、梁間6間の和様の仏堂です。長命寺三重塔は安土桃山時代の慶長2（1597）年の全面を丹塗りにしている和様の三重塔で、屋根は柿葺となつています。長

命寺鐘楼は江戸時代の慶長13（1608）年の建物で、入母屋造で屋根は檜皮葺の重層であり、袴腰が付いています。長命寺護摩堂は江戸時代の慶長11（1606）年の建物で、宝形造で屋根は檜皮葺となつています。長命寺三

仏堂は室町時代の永祿年間の建物で、江戸時代寛政5（1793）年に修理されています。入母屋造で屋根は檜皮葺となつています。丹塗りにしている堂で、堂内に釈迦如来立像、阿弥陀如来立像、薬師如来立像を安置しています。長命寺護法権現社拝殿は室町時代後期の建物で、入母屋造で屋根は檜皮葺となつてい

ます。桁行3間、梁間2間で建物の四周に切目縁をつけています。護法権現社は長命寺創建時の話にあった武内宿禰を祀つています。三仏堂と護法権現社拝殿、三仏堂と本堂をつなぐ渡廊下は室町時代の永祿年間の建物です。三仏堂側には唐破風および龕股、兎毛通の意匠があり、屋根は檜皮葺となつています。

長命寺は「琵琶湖とその水辺景観」祈りと暮らしの水遺産「1300年つづく日本終活の旅」西国三十三所観音巡礼」の構成文化財として日本遺産に認定されており、琵琶湖を臨みながら、悠久の歴史を今に伝えています。



長命寺 三仏堂

人口と世帯 令和4年5月1日現在 ()は前月比

総数	81,883人	(+ 38)
男	40,224人	(+ 15)
女	41,659人	(+ 23)
世帯	34,835世帯	(+ 74)

※外国人住民(40か国・地域/1,612人)を含みます。

広報おうみはちまんは、各自治会を通じてお届けします。また、各学区コミュニティセンターや図書館などの公共施設、郵便局、金融機関、セブン-イレブン・ファミリーマート各店舗などに置いているほか、市ホームページやマチイロ、マイ広報紙などでもご覧いただけます。

Facebook



YouTube



Instagram



マチイロ



マイ広報紙



LINE

